

医療法人玄真堂川島整形外科病院



■研修責任者から
院長
田村裕昭氏

地方にありながらも世界に通じる医療を提供
当院は大分県の県北に位置し、中津市を中心に周辺地域をあわせ20万人の整形外科疾患の診療を担っています。

年間手術件数は1200件前後で、整形外科疾患のほとんどを経験することが可能であり、専門性を持った経験豊かな上級医たちが、責任を持って指導にあたっています。経験疾患に偏りが無いように、定期的に評価も行っていきます。

また、理事長のライフワークである減圧症や減圧性骨壊死の研究、高気圧酸素治療に関しては、国際潜水高気圧環境医学会や日米宇宙・潜水・高気圧環境医学会などでの発表や、交流を通じて国内外に広く認知され、世界をリードする存在であり、人的国際交流もさかんです。さらに、現在でもなお難治性疾患である骨髄炎治療に関しては、多くの著書や学会発表の影響もあって国内各地の施設から多くの患者さんが紹介され治療を行っています。「地方にあって世界に通じる医療を」をモットーに、日常診療に埋没することなく、常勤医それぞれが専門分野で継続的に研鑽・発表を重ねています。



■指導医に聞く
副院長
川島眞之氏

多職種と連携しながら地域医療を支え
全人的な成長をめざす

当院は日本整形外科学会の専門医研修施設として現在6名の整形外科専門医が日々の診療と研修の指導にあたっています。救急病院として地域の整形外科疾患の1次・2次救急患者の多くを受け入れているため外傷の症例も豊富であり、変性疾患やスポーツ障害に対する人工関節置換術や鏡視下手術、関節リウマチの生物学的製剤による治療など地域住民の期待に応えるべく幅広い診療に

■研修医に聞く
2年目後期研修医
村岡静香氏

すべての上級医が自分の指導医として
教えてくださるすばらしい環境

当院で2年間の後期研修を行いました。整形外科医としては1年目同然で、右も左もわからない私に対して、常に熱心に優しく指導していただきました。すべての上級医が私の指導医となり、それぞれの専門分野はもちろん、整形外科一般を幅広く親身になって教えていただきました。小児の骨折からスポーツ外傷、変性疾患、脆弱

性骨折まで、経験できる症例は幅広く、後期研修に適した病院です。特に大腿骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折といった外傷症例が多く、積極的に研修医に執刀の機会を与えてくださいます。学会発表や論文作成も丁寧な指導のもとで数多く経験できます。全職員が笑顔でやさしく、気軽に声をかけてくださり、和気あいあいとした働きやすい環境であることも当院の魅力のひとつです。コ・メディカルスタッフのレベルもきわめて高く、他職種から考え方や手技等を学ぶことも少なくありません。当院で研修できたことを誇りに思います。ぜひ、おすすめしたい病院です。

■後期研修DATA
【プログラム・コース名】
整形外科

【プログラムの目的と特徴】

同院におけるレジデントコース（後期研修）は、卒業2年間の初期研修を修了し、整形外科専門医をめざす3年目以降の医師を対象としている。日本整形外科学会専門医の取得をめざし、必要な基本的、専門的診療能力を身につけることを研修目的とする。

【認定・専門施設認定】

日本整形外科学会研修病院、大分医科大学整形外科研修病院、産業医科大学整形外科研修病院、東京医科歯科大学整形外科研修病院、日本リウマチ学会教育研修施設、柳ヶ浦高校衛生看護専攻科実習病院、中津ファビオラ看護学校看護学科実習病院、学校法人平松学園大分臨床工学技士専門学校実習病院、学校法人平松学園大分リハビリテーション専門学校実習病院、国立大学法人広島大学実習病院、学校法人熊本城北学園九州看護福祉大学実習病院実習病院、学校法人文京学院文京学院大学実習病院実習病院、学校法人帝京大学帝京大学福岡医療技術学部実習病院、学校法人立志学園九州中央リハビリテーション学院実習病院、学校法人麻生塾麻生リハビリテーション専門学校実習病院、学校法人福岡学園大分リハビリテーション専門学校実習病院、学校法人福岡学園ハーベスト医療福祉専門学校実習病院、医療法人弘仁会熊本総合医療リハビリテーション学院実習病院、学校法人後藤学園藤華医療技術専門学校実習病院、学校法人福岡保健学院小倉リハビリテーション学院実習病院、学校法人専門学校大阪医専実習病院、学校法人教育ビジネス学園福岡リハビリテーション専門学校実習病院、日本文理学大附属診療放射線技師専修学校実習指定病院

【処遇】

身分：正職員
給与：年収10,000,000円より（諸手当含む）
社会保険：健康保険、厚生年金加入あり（労働災害補償保険あり）
医師賠償責任保険：病院自体の加入あり、日本医師会会員登録は個人負担
宿舎：あり（2K相当のアパート〈独身者〉、4LDK相当の一軒家〈既婚者〉）

■病院DATA

開設者・理事長：川島眞人
病院長：田村裕昭
所在地：〒871-0012 大分県中津市宮夫14-1
TEL：0979-24-0464
FAX：0979-24-6258

URL：http://www.coara.or.jp/gensin/
交通：JR日豊本線中津駅よりバスで約10分
病床数：93床（一般病床）
医師数：12名（2010年9月1日）
指導医数：6名（同上）
研修医数：初期0名／後期1名

1日平均入院患者数：91名（2009年度）
1日平均外来患者数：500名（同上）※併設クリニック含め
診療科目：整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、脳神経外科
主な設備など：MRI、高気圧酸素治療装置、超音波検査装置、血液脈波測定装置、骨塩定量測定装置、X線透視装置、無菌手術室、等速性筋力測定機器、口腔外科、創傷ケアセンター、図書室ほか

■病院の特徴

常に世界水準の整形外科医療を追求してきた川島理事長のもと、1981年に19床の整形外科病院として開設されたのが同院である。同年、小型高気圧酸素治療装置が導入されたのを皮切りに、ハード面の整備が着々と進められ、現在では大型高気圧酸素治療装置3基を有し、国内屈指の設備が整っている整形外科専門病院として注目を集めている。

また、治療後のリハビリ・介護面にも注力し、リハビリテーションセンターや介護・老健施設を拡充。地元の医師会や開業医との連携も深めながら、地域と一体となって病院づくりを進めている。このほか、2次救急病院として救急医療にも貢献するなど、地域住民に裾野の広い確かな専門医療を提供しつづけている。米国内レベルの学会や国際学会も主催している。

近年では後進の育成にも力を入れており、独立した教育専門の部署を設立。医療技術のみならず医師一人ひとりの「哲学」を育む教育を行っている。洗練された研修プログラムに加え、国内外を問わず専門講師を招いて学習機会を設けるなど、専門性をとことん追求できる環境となっている。ディスカッションや各種カンファレンス、MRI検討会なども活発で、定期的に英文抄読会や英会話昼食会が催されるほか、論文、雑誌、蔵書と関連資料も豊富に用意されている。内外の学会にも多くの演題を毎年発表し、多数の論文、著書の出版もある。